

【第2期】令和7年度 旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る施策評価表(案)

資料1－2

【R5-R6実績比較の整理】

目標値に対する達成率の「R5・R6間の変化率」により整理。

- 向 上 : +10ポイント以上の向上
- 概ね横ばい : ±10ポイント未満の変化
- 減 少 : -10ポイント以上の減少

【評価項目】

- 継続発展 : 現状の取組を継続しつつ、拡充発展すべきとするもの
- 継 続 : 現時点では現状の取組を継続すべきとするもの
- 見 直 し : 現状の取組から方向転換すべきとするもの

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

具体的な施策項目		総合戦略における重要業績評価指標 (KPI)					第2期戦略終了時点のKPIの現状認識		施策評価(案)※第3期に向けて		担当部
									評価	評価の視点	
ア	安心して妊娠、出産、育児ができる総合的な支援	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合(市民アンケート結果)					コロナ禍等によりR3年度実績が低下したと考えられる。その後、子ども医療費を中学生まで無償化したほか、オンラインを含む相談支援体制の強化など、子育てしやすい環境の充実に向けた取組をはじめとした支援の強化により、R5年度は若干数値が回復しているが、物価高騰による経済的負担感の増大等を受け、目標を下回ったと考えられる。		継続発展	今後は、これらの取組の継続と効果的な周知に加えて、子育て環境の更なる充実のため、子どもの貧困に係る支援や、いじめを防止・解決する仕組みづくり、保育の質向上などに取り組む必要がある。	子育て支援部
		基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較					
		59.9%(R1年度)	54.0(R5年度)	54.0(R5年度)	65.0%	概ね横ばい					
イ	結婚を希望する人への情報提供の充実	あさひかわ縁結びネットワークのホームページのページビュー数(各年度PV数)					出会いの機会の提供として実施している婚活イベントにおいて、令和4年度より参加人数を増やして開催したことなど、関係団体主催のイベントが少しずつ開催されるようになったことによりPV数はコロナ禍前の数値近くまで回復しているが、年度を通じての婚活イベントなどの情報発信はまだ少なく目標を下回っている。		継続	今後は、結婚支援に対する市民ニーズを整理した上で、民間との役割分担を含めて今後の取組のあり方を検討する必要がある。	市民生活部
		基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較					
		46,789PV(H30年度)	42,848PV	42,829PV	62,000PV	概ね横ばい					
ウ	子どもたちへの教育環境の充実	子どもたちへの教育環境が充実していると感じる市民の割合(市民アンケート結果)					新型コロナウイルス感染症の影響による教育環境への不安や、子どもが被害者となる痛ましい事件の発生やいじめの重大事態が起きたことなどから、令和3年度以降減少に転じ、目標を下回っている。		継続発展	今後は、いじめ防止対策をはじめ、学校内での安全・安心な環境づくりや、ICT教育等の充実等によって、誰一人取り残すことなく児童生徒が自己の希望をかなえる力を育むため、更なる教育環境の整備と支援を進める必要がある。	学校教育部
		基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較					
		34.2%(R1年度)	27.3(R5年度)	27.3(R5年度)	38.50%	概ね横ばい					
エ	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現	「ワーク・ライフ・バランスが実現できている」と思う市民の割合(市民アンケート結果)					目標及び基準値を下回っている。女性の就業率が増加してきている中で、ワーク・ライフ・バランスが後退していることから、人材不足が進んだことも影響として考えられる。		継続発展	調査の結果、男女とも実現できない理由については「長時間労働」が圧倒的に多く、次いで「職場の理解がないため」と回答であったことから、企業側の体制や意識を大きく変えていく必要がある。	総合政策部
		基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較					
		22.0%(R1年度)	16.8%	16.8%	26.5%	概ね横ばい					

**基本目標2 新しい人の流れをつくり、留まれる中核拠点を創出する**

具体的な施策項目		総合戦略における 重要業績評価指標 (KPI)					第2期戦略終了時点の KPIの現状認識		施策評価(案)※第3期に向けて		担当部
									評価	評価の視点	
ア	移住(UJターンを含む)に関する 総合的な環境整備	移住相談会や交流会などの参加者数(R2年度～R6年度累計 数)					首都圏で開催された移住相談イベントへの出展や、冬 の暮らしセミナー、連携中枢都市圏合同イベント等を開 催することで、幅広く移住関心層への訴求を行ったた め、目標をすでに達成した。	継続 発展	(移住) 今後は、二地域居住などの新たなライフスタイルや国の動 きを注視しつつ、引き続き移住検討者のサポート充実に係る取組 を進める必要がある。 (地元就職の促進) 引き続き移住・定住に係る施策とも連携しなが ら取組を進め、人材確保を促進する必要がある。	地域振興部 経済部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
			892人	1,216人	705人	向上					
		企業情報提供サイトを活用して旭川市内に就職した人数(R2 年度～R6年度累計)					地元企業の魅力や情報を紹介する旭川市企業情報提 供サイト「はたらくあさひかわ」の運営、まちなかしごとプ ラザでの相談業務を通じて、目標をすでに達成した。				
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
			114人	145人	56人	向上					
イ	大学等の活性化と企業等との連 携による若者の地元就職の促進	市内に就職した新規卒業生の割合					R4年度までは伸びていたものの、R5年度で数値が下落 し目標及び基準値を下回っている。特に高校生の割合 が大きく下がっている。コロナ禍の行動制限により市内 での就職を選択していた者が多かったR4年度までと一 変し、全国的に売り手市場である雇用情勢により市外 への就職が増加したと推測される。	継続 発展	今後、若者の地元就職を促していくために、特に高校生に対して 旭川市企業提供情報サイト「はたらくあさひかわ」の活用や市内就 職者に対する奨学金返済補助事業などを継続して実施すること で、移住政策と同様に本市への就職を促していく必要がある。	経済部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		44.87% (H30年度)	42.30%	41.90%	48.00%	概ね横ばい					
ウ	時代に即し、地域の特性を生かし た企業誘致の促進	企業立地件数(R2年度～R6年度累計)					新型コロナウイルス感染症の影響で新たな投資を手控 える傾向があり、令和3年度の実績が低調となった影響 で目標を下回っているものの、それ以外は順調に推移 している。IT企業進出の支援等も奏功し、令和5年度 は、IT関連2社を含む6件の誘致実績となり、過去30年 間で最多となった。	継続 発展	引き続き本市の魅力や優位性をアピールし、積極的に誘致活動を 展開していく必要がある。	地域振興部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
			21件	26件	30件	向上					

スポーツ、文化・芸術やアウトドア環境を活用した滞在の促進		—								—
エ	①	スポーツ大会・合宿の誘致及びプロスポーツとの連携	国際・全国等スポーツ大会数(各年度件数)					継続 発展	(スポーツ大会の誘致) 引き続きスポーツに適した本市の環境を広くPRしていく必要がある。 (スポーツ合宿の誘致) 引き続き官民連携の取組により誘致を推進していく必要がある。	観光スポーツ部
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較			
			13件(H30 年度)	18件	22件	19件	向上			
			スポーツ合宿誘致者数(各年度人数)							
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較			
			3,395人 (H30年度)	6,045人 (R4年度)	2,258 (R5年度)	4,000人(R 6年度)	減少			
	令和4年度に目標値を達成したが、直近の令和5年度においてはわずかに下回っている。令和5年度にはインターハイが本市で開催され、令和6年度にはヴォレアス北海道がSVリーグに参入するなど、全国的に大規模スポーツ大会等が、コロナ禍以前の開催状況に戻りつつあることが要因として考えられる。									
	スポーツ合宿誘致者数(各年度人数)					コロナ禍からの回復に加え、市内における宿泊を伴うスポーツ大会の開催の増加、行政と地域の競技団体、受入・宿泊施設等の連携による合宿の誘致推進により、令和4年度に目標を達成した。				
	基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
	3,395人 (H30年度)	6,045人 (R4年度)	2,258 (R5年度)	4,000人(R 6年度)	減少					
	②	観光客の滞在とリピート率増加に向けた街全体の魅力向上	観光客のリピート率					継続 発展	今後は、新規の観光客のリピート率を向上させるため、旭山動物園の魅力向上やアドベンチャートラベルの推進、広域連携等により特に外国人観光客に訴求する新たな魅力を創出する必要がある。	観光スポーツ部
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較			
			58.0%(H30 年度)	58.7%	57.7%	66.0%	概ね横ばい			
本圏域を訪れる観光客の旅行消費額(一人あたり)										
基準値			令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較				
43千円 (H30年度)			110千円	71千円	55千円	減少				
令和2年度から令和4年度は目標を上回ったものの、令和5年度実績値は目標を下回った。コロナ禍においては国内・道内旅行者が主要だったことからリピート率が高くなり、令和5年度以降は、観光宿泊客延べ数が伸びており、新規の観光客が増加したことが要因として考えられる。										
目標を上回っている。令和5年度における大幅な増加の要因としては、外国人宿泊延数について前年度比434.7%と大幅増が見られることから、外国人観光客の宿泊・滞在の影響が要因の一つとして考えられる。										
④	冬季のイベントやアクティビティ等の充実による冬季観光の推進	冬季(12月-3月)観光客宿泊延数(各年度泊数)					継続	引き続き、都市型スノーリゾート地域の構築及び大雪山エリアの地域ブランディングの推進や受入体制の充実を図り、冬季観光客の増加を図る必要がある。	観光スポーツ部 地域振興部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較				
		388千泊 (H30年度)	359千泊	432千泊	465千泊	向上				
		目標を下回っているが、スノーリゾート地域の構築、PR等により、直近で前年度比170%と順調な伸びが見られる。								

**基本目標3 北海道を舞台にチャレンジするひとや企業を応援し、新たな雇用を創出する**

具体的な施策項目		総合戦略における 重要業績評価指標 (KPI)					第2期戦略終了時点の KPIの現状認識		施策評価(案)※第3期に向けて		担当部
									評価	評価の視点	
ア	地域商社の機能強化と地元企業の海外進出や販路拡大の促進	海外進出企業の海外拠点数(累計数)					コロナ禍により、地域企業の海外拠点数が大きく減少し、目標を下回っている。	継続 発展	今後は人口減少等により国内の市場が縮小傾向であることから、企業の海外進出への支援を継続し、地域経済の活性化を目指す必要がある。	経済部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		40箇所 (H30年度)	24箇所 (R5年度)	24箇所 (R5年度)	63箇所	概ね横ばい					
イ	先端技術や地域の強みを活用し 未来を見据えた産業の創出	粗付加価値額					本市の製造業においては、粗付加価値額は増加傾向にあるものの、目標を下回っている。	継続 発展	(産業振興) 今後は、デザイン分野での活動の推進や、産業支援機関や金融機関、経済団体などとの連携などにより、新製品開発や販路拡大支援等の取組を継続する必要がある。 (アグリビジネス) 引き続き農村地域の活性化や地域産業の持続的な発展につながるグリーン・ツーリズム関連産業の裾野を広げる取組を継続する必要がある。 (農業振興) 今後は、産地の生産力を強化するためにも、省力化技術の導入や、労働力確保への支援を行っていくとともに、クリーン農業の推進や、販路の開拓などの支援を継続し、持続可能な農業の実現に向けた環境整備が必要である。 (農地集積・担い手確保) 引き続き担い手確保や、経営継承、経営発展に係る支援を継続する必要がある。	経済部 農政部	
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		8,246,014万円 (H29年度)	8,707,076万円 (R3年度)	8,485,862万円 (R4年度)	9,812,544万円	概ね横ばい					
		アグリビジネス 起業数(累計数)					グリーン・ツーリズム施設認定等により、目標を上回った。				
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		93件(H30年度)	100件	100件	99件	概ね横ばい					
		青果物販売額					農家数の減少や高齢化、消費者趣向の変化等の中で、目標及び基準値を下回っている。				
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		1,761百万円(H30年度)	1,592百万円	1,736百万円	1,963百万円	概ね横ばい					
		担い手農家への農地集積率					目標を下回っているが、平成30年度から令和4年度にかけて3.3%の増と推移しており、今後も農地集積が進むと見込まれる。				
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較					
		73.8%(H30年度)	77.1%	77.2%	77.7%	概ね横ばい					

ウ

街の産業を支える人材として全ての人が活躍できる環境づくり

新規開業件数(各年度件数)					令和2年度において目標値を達成したが、年度による増減が大きく、直近においては目標を下回っている。
基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較	
313件(H30年度)	249件	260件	331件	概ね横ばい	
新規就農者数(累計数)					令和4年度中に新規就農した数が4名となり、目標値を達成した。 令和6年度以降の就農を目指して研修生が複数いるほか、就農相談件数も毎年数多くあるため、今後も就農が見込まれる。
基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較	
57人(H30年度)	68人	68人	67人	概ね横ばい	
女性就業率					企業における多様な働き方の促進や女性活躍推進に係る啓発事業、女性の起業家やデジタル人材の育成事業を通じ、目標を達成した。
基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較	
39.8%(H30年)	45.2%	45.2%	43.0%	概ね横ばい	
障がい者の雇用率					令和6年度における法定雇用率(2.5%)を超えており、目標を達成した。
基準値	令和5年度実績値	令和6年度実績値	令和6年度目標値	R5-R6実績比較	
2.19%(R1年度)	2.71%	2.46%	法定雇用率 以上	減少	

継続発展

(創業支援)  
引き続き、支援機関、金融機関、関係団体等と連携した起業、創業支援の強化を図り、支援を充実させる必要がある。  
(新規就農支援)  
引き続き研修指導体制や研修施設の整備等を進めていく必要がある。  
(女性の活躍)  
引き続き誰もが働きやすい職場環境づくりの意識醸成や、女性活躍に係る啓発事業の充実、女性起業家やIT人材の育成などの取組が必要である。  
(障がい者の活躍)  
引き続き、関係機関との連携、農福連携によるマッチング支援等、多様な取組を通じて、障がいのある人の活躍推進のため取組を継続していく必要がある。

経済部  
農政部

**基本目標4 安心で魅力ある持続可能な拠点都市を形成する**

具体的な施策項目		総合戦略における 重要業績評価指標 (KPI)					第2期戦略終了時点の KPIの現状認識		施策評価(案)※第3期に向けて		担当部			
									評価	評価の視点				
ア	旭川空港の利用拡大と交通機能の充実		—								—			
	①	旭川空港の利用拡大	空港乗降客数(各年度人数)					目標を下回っているが、新型コロナウイルス感染症の5類移行から、急速に回復している。	継続 発展	今後は、空港運営者、周辺自治体、航空路線で結ばれた地域等と連携して航空路線の維持拡充を図るとともに、空港地域として観光、産業振興、企業誘致、地域間交流等の施策や航空会社と連携した取組などの利用促進策を展開していくとともに、グランドハンドリング人材の確保等対応を進める必要がある。	地域振興部			
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			113.5万人 (H30年度)	105万人	116.1万人	145万人(R 6年度)	向上							
	②	バスなど公共交通機能の充実	市民一人当たりの路線バスの年間利用回数					グーグルマップによる経路検索対応など、利便性向上に係る取組は行っているが、市民一人当たりの路線バスの年間利用回数は、年々減少しており目標を下回っている。	継続 発展	今後は、旭川市地域公共交通計画に基づき、利用者の減少や乗務員不足等への具体的な対応を進める必要がある。	地域振興部			
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
32.6回(H30 年度)			25.7回	25.5回	36.6回	概ね横ばい								
イ	中心市街地の基盤としての機能と 魅力の向上		まちなか居住人口(各年10月1日人数)					中心市街地の維持・活性化に向けた取組を実施することにより微増していたが、令和元年度から減少に転じ、基準値及び目標を下回っている。	継続 発展	今後は、滞在空間の創出等の社会実験などを通じて、まちなかの魅力を高める取組の充実を図って行く必要がある。	市民生活部			
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			9,817人(R 1年度)	9,475人	9,409人	10,400人	概ね横ばい							
ウ	地域主体のまちづくりの充実		地域まちづくり推進協議会の事業・活動に参画した地域住民の人数(各年度人数)					令和4年度からコロナ禍で制限されていた地域活動が活発に行われた結果、令和4年度において目標を上回った。	継続 発展	引き続き、事業・活動の認知度向上や、担い手不足の課題の対応などに取り組む必要がある。地域活動を支援し、地域との結びつきを強化していく必要がある。	総合政策部			
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			1,454人 (H30年度)	1,710人	1,579人	1,500人	概ね横ばい							
			地域まちづくり推進事業補助金・負担金の交付件数(各年度件数)					令和2年度より増加傾向にあり、今後も増加が見込まれるものの、目標を下回っている。						
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			61件(H30 年度)	67件	66件	75件	概ね横ばい							
エ	北北海道や上川中部圏域との連携促進		北北海道の自治体との連携による取組数(各年度件数)					目標を下回っているものの、概ね目標を達成している。	継続	引き続き、関係自治体と連携を図りながら、各種課題の解決に向けた取組を進めるとともに、北北海道の拠点都市としての役割をより発揮し、地域力の向上に努める必要がある。	総合政策部			
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			38件(R1年 度)	41件	41件	42件	概ね横ばい							
			上川中部定住自立圏形成協定に基づく取組数(各年度件数)					令和3年度に目標を達成しているが、その後、連携中枢都市圏への移行により、公共交通の利用促進や、ジオパーク構想の推進の取組など連携事項が拡大したほか、各種取組を推進したことで、更に実績が増加している。						
			基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較							
			154件(R1 年度)	305件	314件	166件	概ね横ばい							

オ	関係人口の拡大を目指した積極的な情報提供の促進	ホームページアクセス(全ページ合計)件数(各年度件数)					令和2年度に新型コロナウイルス感染症の発生状況やワクチン情報のほか、SNSに市政情報とあわせて市ホームページのリンク先を投稿したことで、ホームページの閲覧数が増加し、目標を達成した。	継続 発展	引き続き市民が必要な情報をわかりやすく提供するための取組を充実させる必要がある。	市民生活部
		基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較				
		1,609万件 (H28-H30 年度の平 均値)	2,414万件	2,098万件	1,770万件 (R6年度)	減少				
カ	防災や雪対策の充実による安全・安心なまちづくりの推進	快適に生活できる環境にあると感じている市民の割合					基準値からは改善が見られるものの、目標を下回っている。	継続 発展	今後は、防災・雪対策における関係機関の連携による体制の強化、DXの活用を含めた人材確保への対応や健幸福祉都市の実現に向けたスマートウエルネスあさひかわプランの推進やゼロカーボンシティの実現など、総合的な都市の快適性を確保するため、着実に取組を進める必要がある。	土木部 防災安全部
キ	健幸福祉都市の実現に向けた健康づくりの推進	基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較		継続 発展		健康保健部
		39.4%(R1 年度)	40.6%	40.6% (令和5年 度)	45.5%	概ね横ばい				
ク	ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進	市役所に対して良い印象を持っている市民の割合					目標及び基準値を下回っている。	継続 発展	今後は、除排雪における市民からの改善要望への対応や、地域脱炭素に向けた率先的な取組、デジタル技術等を活用した日本一の窓口を目指した取組をはじめとした行政サービスの改善に引き続き取り組む必要がある。	環境部
ケ	デジタル技術の導入によるDX化の推進	基準値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値	令和6年度 目標値	R5-R6 実績比較		継続 発展		行財政改革推進部
		37.1%(R1 年度)	35.6%	35.6% (令和5年 度)	46.5%	概ね横ばい				